

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

LOBO調査（2012年4月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。  
 実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。  
 なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。  
 （アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 浪江・張替  
 TEL：03-3283-7839  
 FAX：03-3213-8716  
 E-mail:sangyo1@jcci.or.jp

○調査期間：2012年4月13日～19日  
 ○調査対象：全国の415商工会議所が2887企業にヒアリング  
 （東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

<産業別回収状況>				<ブロック別回収率>	
調査産業	調査対象数	回答数	回収率		
建設	435	230	52.9%	北海道	50.8%
製造	690	389	56.4%	東北	55.2%
卸売	310	162	52.3%	北陸信越	43.2%
小売	724	351	48.5%	関東	52.2%
サービス	728	364	50.0%	東海	63.0%
合計	2887	1496	51.8%	近畿	44.9%
				中国	44.3%
				四国	65.8%
				九州	52.9%

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）  
 ※ DI値（景況判断指数）について  
 DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)  
 業況・採算：(好転) - (悪化)      売上：(増加) - (減少)

-----【2012年4月調査結果のポイント】-----

業況DIは、改善続くも、先行きは慎重な見方変わらず

4月の全産業合計の業況DIは、▲16.8と、前月から+7.1ポイントと2カ月連続で大幅に改善。復興需要の波及効果が及び始めたことに加え、自動車の輸出増加に伴う製造業の改善などが要因。しかし、比較対象の前年同月（2011年4月）は東日本大震災後で業況DIが過去最大の悪化幅（前月比▲11.8）を記録。サプライチェーンの寸断による生産の停止・縮小や、自粛ムードによる消費の落ち込みなど、各地で景況感が大きく低迷した時期。実態は超円高の長期化、取引先の海外移転等に伴う受注の減少、原油価格の高止まりや電力料金の上昇によるコスト増などを背景に厳しい状況が続いている。

先行きについては、先行き見通しDIが▲20.2（今月比▲3.4ポイント）と、悪化する見込み。超円高や原油価格の高止まりの長期化に加え、今夏の電力供給不足による事業活動への影響懸念から、先行きは依然として慎重な判断となっている。

産業別にみると、業況DIは、全ての業種でマイナス幅が縮小。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「住宅エコポイント制度の再開に伴い小規模なリフォーム工事が増えているが、新築に関しては低迷している」（建築工事業）、「震災以降、人件費の高騰が続いており、利幅が縮小」（一般工事業）、「ハローワーク等を利用して電気技能工の募集をしているが応募がない」（電気工事業）

【製造業】「エコカー補助金の再開に伴い4～6月にかけて国内向けの大きな受注が入ったが、それ以降の反動減を懸念」（自動車部品製造業）、「円高により輸出は不振であるが、国内は復興需要により建設機械の受注が増加」（建設機械製造業）、「電力料金の値上がりに伴うコスト増に加え、今夏の電力の供給不足による生産活動への影響を懸念」（輸送用機器製造業）

【卸売業】「中国での人件費の高騰により仕入価格が上昇している」（衣料・日用品卸売業）、「工場の海外移転が加速しているため、国内での鉄スクラップの発生が減少」（再生資源卸売業）、「円高の影響で製パン・製菓の原料である粉類の輸入価格が下落」（食料品卸売業）

【小売業】「気温の上昇に伴い、春物が好調。特にカジュアル衣料の動きが活発」（百貨店）、「高級ブランド品等の高額商品は総じて好調」（百貨店）、「売上の対前年比はプラスであるが、一昨年比はマイナスのまま。商品単価の下落、採算の悪化など、厳しい状況が続いている」（酒類販売業）

【サービス業】「原油高騰の影響で軽油も上昇しているが、輸送価格への転嫁は困難」（運送業）、「震災の影響で昨年度は自粛や延期になった学会・イベント等が開催され宿泊・宴会が好調」（旅館）、「BCP（事業継続計画）の構築を目的としたIT投資は増加傾向にある。それに伴い技術者が不足しており、人件費が高騰している」（ソフトウェア業）

ブロック・産業別業況DI（前年同月比：2012年4月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲ 16.8	▲ 24.0	▲ 9.5	▲ 17.3	▲ 27.5	▲ 9.6
北海道	▲ 18.4	▲ 11.1	0.0	▲ 42.9	▲ 25.0	▲ 22.2
東北	▲ 4.1	4.2	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 12.9	6.5
北陸信越	▲ 20.7	▲ 35.7	▲ 7.1	▲ 15.4	▲ 25.9	▲ 17.9
関東	▲ 11.5	▲ 19.4	▲ 7.3	▲ 3.4	▲ 29.0	0.9
東海	▲ 8.3	▲ 19.2	7.8	▲ 15.8	▲ 25.6	▲ 6.7
近畿	▲ 25.7	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 37.5	▲ 29.5	▲ 26.3
中国	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 29.6	▲ 26.7	▲ 38.1	▲ 29.4
四国	▲ 21.6	▲ 44.4	▲ 15.4	▲ 11.1	▲ 20.8	▲ 16.0
九州	▲ 28.5	▲ 45.5	▲ 26.5	▲ 33.3	▲ 37.1	▲ 8.6

ブロック・産業別業況DI（先行き見通し：2012年5～7月）

上段：2012年4月時点

下段：2011年4月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲ 20.2	▲ 29.7	▲ 20.1	▲ 8.6	▲ 21.8	▲ 18.0
北海道	▲ 58.1	▲ 61.9	▲ 58.0	▲ 48.1	▲ 56.5	▲ 61.7
東北	▲ 19.4	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 22.2
北陸信越	▲ 48.1	▲ 53.8	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 52.4	▲ 54.2
関東	▲ 8.1	▲ 4.2	▲ 13.3	0.0	▲ 6.5	▲ 9.7
東海	▲ 48.9	▲ 13.3	▲ 52.4	▲ 50.0	▲ 51.9	▲ 66.7
近畿	▲ 21.3	▲ 39.3	▲ 3.6	0.0	▲ 28.6	▲ 23.1
中国	▲ 62.6	▲ 46.7	▲ 77.8	▲ 60.0	▲ 52.6	▲ 72.2
四国	▲ 19.0	▲ 25.8	▲ 24.5	▲ 5.2	▲ 18.0	▲ 17.9
九州	▲ 61.6	▲ 69.5	▲ 65.2	▲ 45.9	▲ 59.8	▲ 61.3
全国	▲ 19.7	▲ 19.2	▲ 20.3	▲ 15.8	▲ 33.3	▲ 8.9
北海道	▲ 64.0	▲ 64.3	▲ 69.4	▲ 57.1	▲ 50.0	▲ 80.0
東北	▲ 24.3	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 18.8	▲ 21.4	▲ 23.7
北陸信越	▲ 54.6	▲ 59.1	▲ 52.3	▲ 31.3	▲ 56.9	▲ 61.0
関東	▲ 28.1	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 13.3	▲ 28.6	▲ 37.5
東海	▲ 56.0	▲ 81.8	▲ 36.7	▲ 64.3	▲ 64.3	▲ 52.9
近畿	▲ 19.6	▲ 44.4	▲ 11.5	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 8.0
中国	▲ 59.3	▲ 78.9	▲ 55.2	▲ 55.6	▲ 59.3	▲ 51.7
四国	▲ 25.0	▲ 54.5	▲ 17.6	▲ 5.6	▲ 28.6	▲ 20.0
九州	▲ 54.8	▲ 78.9	▲ 44.1	▲ 40.0	▲ 54.5	▲ 56.7

※「先行き見通し」は当月に比した向こう3カ月の先行き見通しDI（以下同じ）

【業況についての判断】

○4月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は▲16.8（前月比+7.1ポイント）と、前月からマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業は、住宅エコポイント制度に伴うリフォーム工事等が増加していることからマイナス幅が縮小。製造業は、輸出の増加に加え、エコカー補助金により国内需要が堅調な自動車関連産業を中心に改善。小売業は、春物衣料や、新年度を迎え住居・生活関連商品の消費が好調。サービス業は、前年度中止となったイベントが開催されるなど、観光関連産業を中心に改善。しかし、比較対象の前年同月（2011年4月）は、業況DIが大きく落ち込んだ時期であり、その反動を含むことに留意が必要。

○向こう3カ月（5～7月）の先行き見通しは、全産業合計の業況DI（今月比ベース）は▲20.1（今月比▲3.4ポイント）と、悪化する見込み。

○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業は、技能者不足による人件費の高騰の長期化が予想されることなどから悪化。製造業は、今夏の電力供給不足による生産活動への不安からマイナス幅が拡大。サービス業は、運輸関連業を中心に燃料費の負担増を懸念していることから悪化。一方、卸売業、小売業は、マイナス幅が縮小する見込みであるが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。

【売上（受注・出荷）についての判断】

○ 売上面では、全産業合計の売上DIは▲7.5（前月比+5.5ポイント）と、前月からマイナス幅は縮小。産業別にみると、製造業はエコカー補助金により自動車関連産業を中心に改善。小売業は、春物衣料や、新年度を迎え住居・生活関連商品の消費が好調であるものの、前年同月の震災による買いだめの反動から改善幅は小幅に止まる。その他の3業種についてもマイナス幅は縮小しているが、比較対象の前年同月（2011年4月）は東日本大震災直後で売上DIが落ち込んだ時期であることに留意が必要。

○ 向こう3カ月（5～7月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲14.2（今月比▲6.7ポイント）と、悪化する見込み。

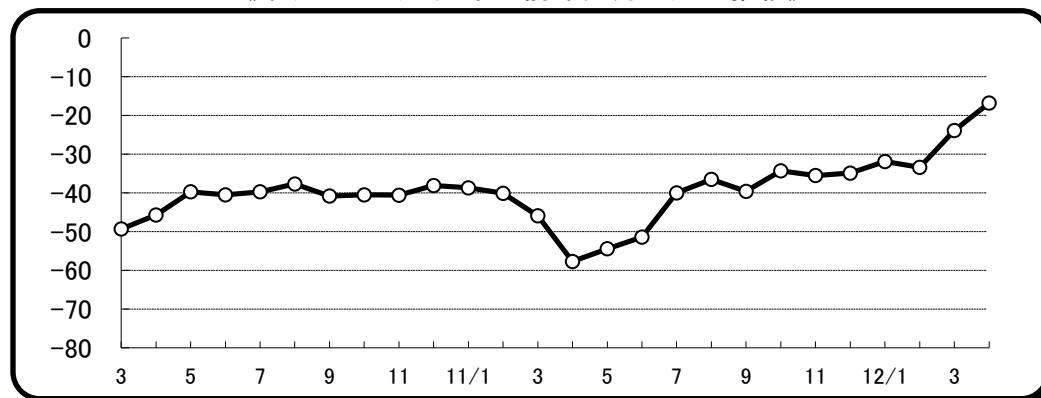
○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、卸売業は改善する見込みであるが、「悪化」から「不変」の変化が主因であることから実態はほぼ横ばい。その他の4業種については悪化する見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

	11年		12年		先行き見通し		
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5～7月
全産業	▲35.5	▲34.9	▲31.9	▲33.4	▲23.9	▲16.8	▲20.2
建設	▲30.1	▲34.0	▲29.0	▲29.1	▲33.6	▲24.0	▲29.7
製造	▲29.2	▲24.8	▲25.6	▲27.6	▲15.3	▲9.5	▲20.1
卸売	▲32.9	▲35.9	▲22.3	▲27.6	▲27.4	▲17.3	▲8.6
小売	▲44.1	▲42.5	▲40.3	▲42.0	▲30.0	▲27.5	▲21.8
サービス	▲38.0	▲37.7	▲36.2	▲36.2	▲18.1	▲9.6	▲18.0

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI

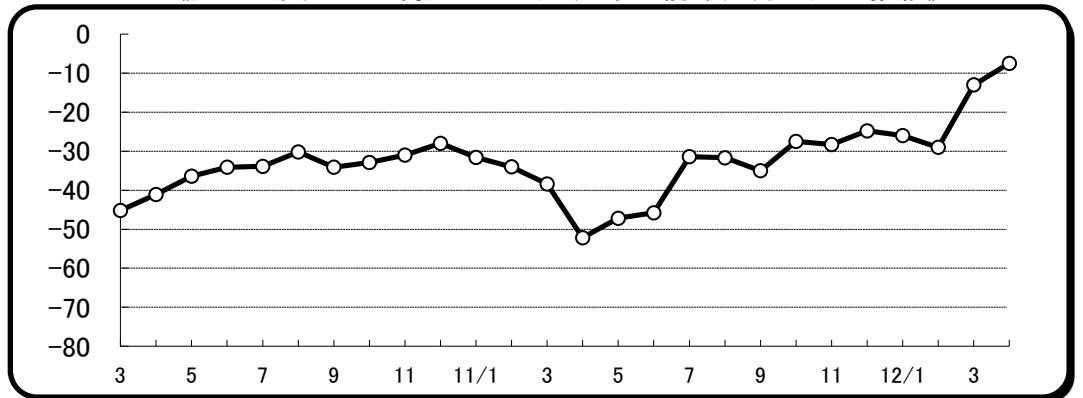
《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

	11年		12年		先行き見通し		
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5～7月
全産業	▲28.3	▲24.8	▲26.0	▲29.0	▲13.0	▲7.5	▲14.2
建設	▲24.1	▲24.0	▲24.3	▲24.7	▲19.7	▲14.7	▲25.1
製造	▲13.0	▲11.0	▲19.6	▲20.2	▲5.5	0.8	▲13.5
卸売	▲22.6	▲23.7	▲22.9	▲28.4	▲11.6	▲9.3	1.2
小売	▲41.8	▲32.5	▲31.7	▲36.8	▲18.1	▲15.5	▲17.6
サービス	▲35.7	▲32.2	▲29.2	▲33.5	▲11.4	▲3.3	▲11.8

《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



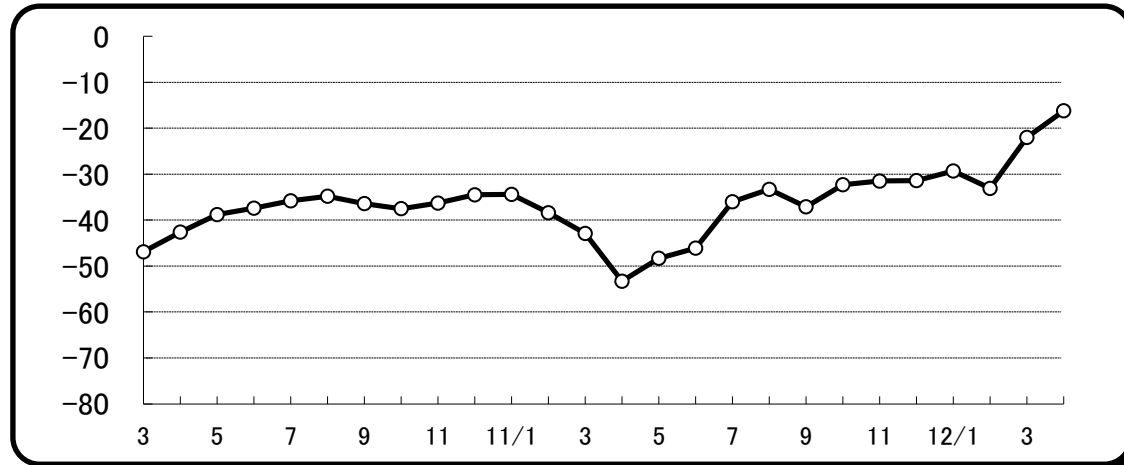
【採算の状況についての判断】

○採算面では、全産業合計の採算D Iは▲16.2（前月比+5.8ポイント）と、前月からマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業は前月から大幅に改善しているが、「悪化」から「不変」の変化が主因であることから実態はほぼ横ばい。その他の4業種もマイナス幅が縮小している。但し、比較対象の前年同月（2011年4月）は東日本大震災後、採算D Iが落ち込んだ時期であることに留意が必要。  
 ○向こう3カ月（5～7月）の先行き見通しについては、全産業合計の採算D I（今月比ベース）は▲20.8と、今月から▲4.6ポイントの悪化を見込んでいる。  
 ○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、卸売業はほぼ横ばい、その他の4業種はマイナス幅が拡大する見込み。

採算D I（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
全産業	▲31.5	▲31.4	▲29.3	▲33.1	▲22.0	▲16.2	▲20.8
建設	▲35.0	▲36.9	▲31.6	▲35.2	▲34.0	▲22.7	▲27.9
製造	▲24.2	▲22.3	▲24.0	▲26.7	▲15.2	▲13.1	▲18.6
卸売	▲28.3	▲26.3	▲20.5	▲27.6	▲18.9	▲13.6	▲13.0
小売	▲34.2	▲35.2	▲32.6	▲37.2	▲25.7	▲20.1	▲22.9
サービス	▲35.8	▲36.2	▲34.0	▲36.7	▲18.2	▲12.6	▲20.1

《採算D I（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りD I（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
全産業	▲21.2	▲21.3	▲20.4	▲19.5	▲16.9	▲9.7	▲15.2
建設	▲23.3	▲29.4	▲24.5	▲21.9	▲23.5	▲14.9	▲21.1
製造	▲15.5	▲11.4	▲16.2	▲15.3	▲10.6	▲5.2	▲11.7
卸売	▲20.4	▲15.5	▲12.1	▲10.3	▲13.0	▲5.0	▲8.7
小売	▲23.0	▲24.8	▲23.0	▲24.0	▲18.3	▲13.9	▲17.4
サービス	▲24.3	▲25.9	▲23.2	▲22.1	▲19.2	▲9.6	▲16.0

D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の資金繰りD Iは▲9.7と、前月からマイナス幅が縮小。産業別にみても、全ての業種でマイナス幅が縮小。売上の改善が資金繰りにも影響しているものの、比較対象の前年同月（2011年4月）は東日本大震災後、資金繰りD Iが落ち込んだ時期であり、その反動を含むことに留意が必要。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ拡大する見込み。産業別にみても、全ての業種で拡大する見込み。

仕入単価D I（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
全産業	▲25.8	▲23.3	▲25.6	▲21.6	▲29.0	▲30.1	▲28.3
建設	▲31.4	▲30.9	▲31.4	▲30.0	▲35.8	▲38.1	▲41.4
製造	▲33.8	▲32.9	▲30.4	▲26.1	▲35.9	▲34.3	▲31.4
卸売	▲25.2	▲17.9	▲23.6	▲10.3	▲23.8	▲24.1	▲26.5
小売	▲15.2	▲12.9	▲17.3	▲15.1	▲19.7	▲21.5	▲18.0
サービス	▲25.1	▲22.1	▲26.0	▲23.1	▲29.4	▲31.7	▲27.5

D I = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の仕入単価D Iは▲30.1と、前月から僅かにマイナス幅が拡大。産業別にみると、製造業ではマイナス幅が縮小、卸売業ではほぼ横ばい、その他の3業種ではマイナス幅が拡大。製造業の改善幅も僅かであり、依然として原油価格の上昇・高止まりが続いている。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ僅かに縮小する見込み。産業別にみると、建設業、卸売業はマイナス幅が拡大、製造業、小売業、サービス業はマイナス幅が縮小する見込み。

従業員D I（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
全産業	▲3.4	▲3.8	▲2.2	▲2.8	▲3.3	0.1	▲1.1
建設	▲2.2	▲8.8	▲4.3	▲5.7	▲6.3	▲3.5	▲5.3
製造	▲6.8	▲6.7	▲5.5	▲4.8	▲4.7	▲2.6	▲2.6
卸売	▲5.7	▲9.6	▲6.0	▲5.1	▲5.5	▲4.3	▲6.8
小売	▲1.9	2.0	0.8	0.3	▲3.3	3.4	1.2
サービス	▲1.2	▲1.2	1.1	▲0.9	1.1	3.9	3.3

D I = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の従業員D Iは0.1と、前月から改善。産業別にみると、小売業、サービス業を中心とした新規出店の動きに伴い、人手不足感が強まっており、その他の3業種も改善。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、今月と比べ悪化する見通し。産業別にみると、建設業、卸売業は、人手過剰感が強まるものの、製造業、サービス業はほぼ横ばい、小売業は人手過剰感が改善する見込み。

## 2012年4月

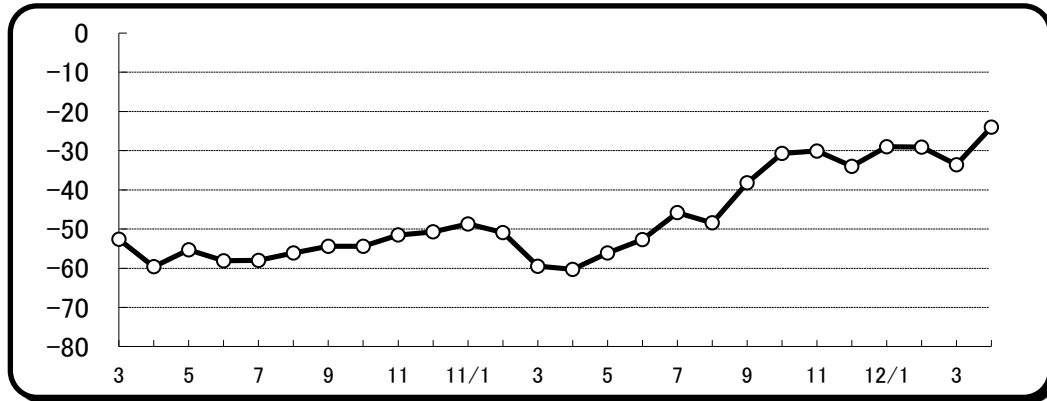
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全国	-7.5	-14.2	-16.2	-20.8	-9.7	-15.2	-30.1	-28.3	0.1	-1.1	-16.8	-20.2
北海道	-21.2	-17.2	-21.4	-23.5	-10.2	-11.2	-17.3	-16.3	0.0	-3.1	-18.4	-19.4
東北	9.8	0.0	-4.9	-10.7	0.8	-10.7	-43.1	-41.5	5.7	5.7	-4.1	-8.1
北陸信越	-6.7	-12.5	-23.0	-24.3	-17.0	-15.4	-32.6	-25.7	-1.5	-0.7	-20.7	-21.3
関東	3.7	-8.5	-8.0	-20.7	-5.6	-14.3	-29.5	-31.0	2.1	0.5	-11.5	-19.0
東海	-6.8	-20.9	-15.1	-23.6	-6.3	-15.1	-28.0	-27.0	5.7	4.1	-8.3	-19.7
近畿	-10.7	-10.1	-26.0	-20.2	-13.6	-11.1	-31.1	-25.6	0.0	-0.6	-25.7	-24.3
中国	-21.1	-25.6	-16.7	-12.2	-14.8	-21.6	-21.6	-17.2	-16.7	-16.9	-30.0	-28.1
四国	-21.6	-25.5	-25.5	-26.5	-12.9	-15.8	-31.4	-35.3	1.0	-2.9	-21.6	-19.6
九州	-26.4	-24.3	-23.4	-22.8	-18.8	-24.3	-33.3	-26.4	-6.9	-7.6	-28.5	-25.0
建設												
全国	-14.7	-25.1	-22.7	-27.9	-14.9	-21.1	-38.1	-41.4	-3.5	-5.3	-24.0	-29.7
北海道	-15.8	-26.3	-16.7	-22.2	-5.6	-11.1	-27.8	-38.9	-5.6	-11.1	-11.1	-33.3
東北	20.8	-4.2	4.2	-12.5	12.5	-8.3	-66.7	-70.8	12.5	12.5	4.2	-4.2
北陸信越	-25.0	-39.3	-28.6	-42.9	-25.0	-35.7	-35.7	-25.0	3.6	3.6	-35.7	-39.3
関東	-4.8	-14.5	-14.5	-29.0	-15.0	-18.6	-37.3	-45.8	-1.6	-4.9	-19.4	-25.8
東海	-11.5	-23.1	-20.0	-16.0	-19.2	-23.1	-26.9	-34.6	7.7	3.8	-19.2	-19.2
近畿	-14.3	-19.0	-33.3	-28.6	-4.8	-9.5	-35.0	-23.8	-9.5	-15.0	-33.3	-33.3
中国	-30.0	-10.0	-10.0	10.0	-10.0	0.0	-20.0	-40.0	0.0	-20.0	-20.0	-20.0
四国	-38.9	-44.4	-50.0	-38.9	-33.3	-33.3	-38.9	-44.4	-16.7	-5.6	-44.4	-44.4
九州	-43.5	-56.5	-47.8	-47.8	-30.4	-39.1	-43.5	-43.5	-30.4	-26.1	-45.5	-54.5
製造												
全国	0.8	-13.5	-13.1	-18.6	-5.2	-11.7	-34.3	-31.4	-2.6	-2.6	-9.5	-20.1
北海道	-5.6	-27.8	-16.7	-33.3	-5.6	-5.6	-11.1	-5.6	-5.6	-11.1	0.0	-11.1
東北	10.0	0.0	-10.0	-20.0	-6.7	-20.0	-50.0	-40.0	-3.3	10.0	-10.0	-13.3
北陸信越	7.1	0.0	-17.9	-14.3	-10.7	-7.1	-46.4	-32.1	-10.7	-3.6	-7.1	-3.6
関東	5.5	-12.8	-7.3	-20.2	-0.9	-13.8	-32.7	-37.3	0.0	-2.8	-7.3	-24.5
東海	7.9	-20.6	-3.1	-18.8	-3.2	-12.7	-33.3	-28.6	3.1	1.6	7.8	-20.3
近畿	7.8	-3.9	-21.6	-13.7	-6.0	-6.0	-36.5	-34.6	-3.8	0.0	-15.4	-25.0
中国	-18.5	-25.9	-11.1	-14.8	0.0	-14.8	-7.4	-3.7	-7.4	-18.5	-29.6	-33.3
四国	-26.9	-26.9	-38.5	-30.8	-7.7	-3.8	-46.2	-42.3	7.7	7.7	-15.4	-11.5
九州	-11.8	-11.8	-17.6	-8.8	-17.6	-14.7	-38.2	-32.4	-14.7	-14.7	-26.5	-17.6

## 2012年4月

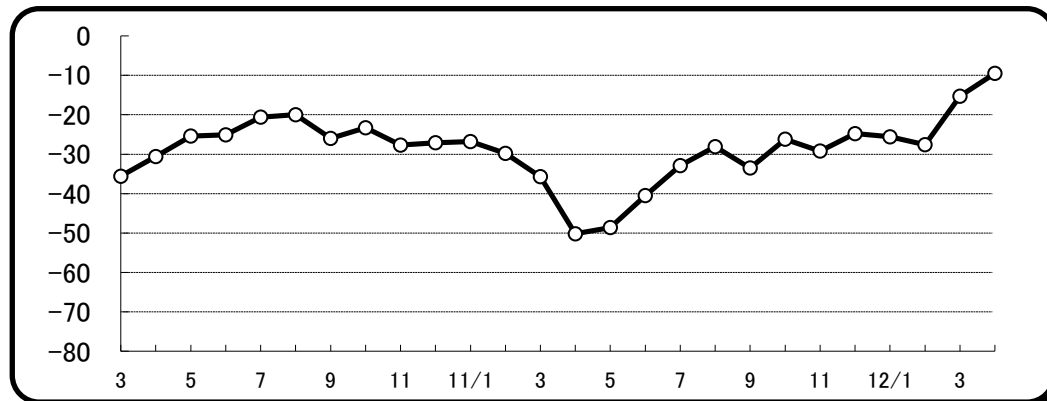
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸売												
全国	-9.3	1.2	-13.6	-13.0	-5.0	-8.7	-24.1	-26.5	-4.3	-6.8	-17.3	-8.6
北海道	-28.6	-14.3	-71.4	-57.1	-14.3	-14.3	-42.9	-14.3	0.0	0.0	-42.9	-14.3
東北	-14.3	-14.3	-14.3	-14.3	-14.3	-28.6	-14.3	-42.9	0.0	-14.3	-14.3	0.0
北陸信越	-7.7	0.0	-15.4	0.0	-7.7	7.7	-46.2	-46.2	-7.7	0.0	-15.4	0.0
関東	17.2	15.5	-1.7	-5.2	0.0	-10.5	-20.7	-24.1	-3.4	-6.9	-3.4	-5.2
東海	-10.5	-5.3	-10.5	-31.6	0.0	-5.3	-10.5	-36.8	-5.3	-10.5	-15.8	-15.8
近畿	-43.8	0.0	-37.5	-25.0	-18.8	0.0	-18.8	-18.8	-12.5	-6.3	-37.5	-18.8
中国	-33.3	-13.3	-26.7	-6.7	-13.3	-20.0	-6.7	-13.3	-20.0	-13.3	-26.7	-13.3
四国	-33.3	-22.2	0.0	-22.2	-11.1	-11.1	-11.1	-11.1	11.1	-11.1	-11.1	-11.1
九州	-22.2	0.0	-5.6	0.0	5.6	-5.6	-55.6	-33.3	5.6	0.0	-33.3	-5.6
小売												
全国	-15.5	-17.6	-20.1	-22.9	-13.9	-17.4	-21.5	-18.0	3.4	1.2	-27.5	-21.8
北海道	-21.4	-3.6	-21.4	-10.7	-7.1	-10.7	-10.7	0.0	0.0	-3.6	-25.0	-14.3
東北	6.5	0.0	-3.2	-6.7	0.0	-13.3	-22.6	-22.6	12.9	0.0	-12.9	-6.5
北陸信越	-3.7	-7.1	-22.2	-25.0	-14.8	-21.4	-7.4	-7.1	3.7	0.0	-25.9	-28.6
関東	-10.0	-17.2	-16.0	-25.3	-13.3	-14.3	-24.0	-21.0	8.1	6.1	-29.0	-18.0
東海	-35.9	-39.5	-33.3	-36.8	-7.7	-15.4	-21.1	-23.7	17.5	15.4	-25.6	-33.3
近畿	-16.3	-11.6	-20.9	-19.0	-22.5	-17.5	-26.2	-16.7	-2.3	-2.4	-29.5	-21.4
中国	-14.3	-38.1	-19.0	-19.0	-25.0	-30.0	-31.6	-21.1	-42.9	-23.8	-38.1	-28.6
四国	-16.7	-29.2	-20.8	-37.5	-13.0	-21.7	-33.3	-41.7	4.2	-4.2	-20.8	-25.0
九州	-31.4	-17.1	-28.6	-20.0	-23.5	-23.5	-14.3	-5.7	2.9	0.0	-37.1	-28.6
サービス												
全国	-3.3	-11.8	-12.6	-20.1	-9.6	-16.0	-31.7	-27.5	3.9	3.3	-9.6	-18.0
北海道	-33.3	-18.5	-14.8	-22.2	-18.5	-14.8	-14.8	-25.9	7.4	7.4	-22.2	-22.2
東北	9.7	6.5	-6.5	-3.2	3.2	3.2	-45.2	-38.7	3.2	6.5	6.5	-9.7
北陸信越	-5.1	-10.3	-25.6	-25.6	-20.5	-10.3	-33.3	-28.2	0.0	-2.6	-17.9	-23.1
関東	12.1	-5.6	-0.9	-20.6	-1.0	-14.6	-31.7	-29.5	3.8	5.7	0.9	-17.9
東海	2.2	-11.1	-15.6	-20.0	-4.4	-17.8	-34.9	-18.6	2.2	4.4	-6.7	-8.9
近畿	-13.2	-15.8	-28.9	-23.7	-17.1	-17.1	-32.4	-27.0	18.4	10.5	-26.3	-23.7
中国	-17.6	-29.4	-17.6	-17.6	-31.3	-37.5	-47.1	-25.0	-5.9	-6.3	-29.4	-37.5
四国	-4.0	-8.0	-8.0	-4.0	-4.0	-12.0	-16.0	-24.0	0.0	-8.0	-16.0	-8.0
九州	-26.5	-35.3	-17.1	-34.3	-20.0	-34.3	-29.4	-26.5	0.0	0.0	-8.6	-20.0

# 業況D I（前年同月比）の推移（全国）

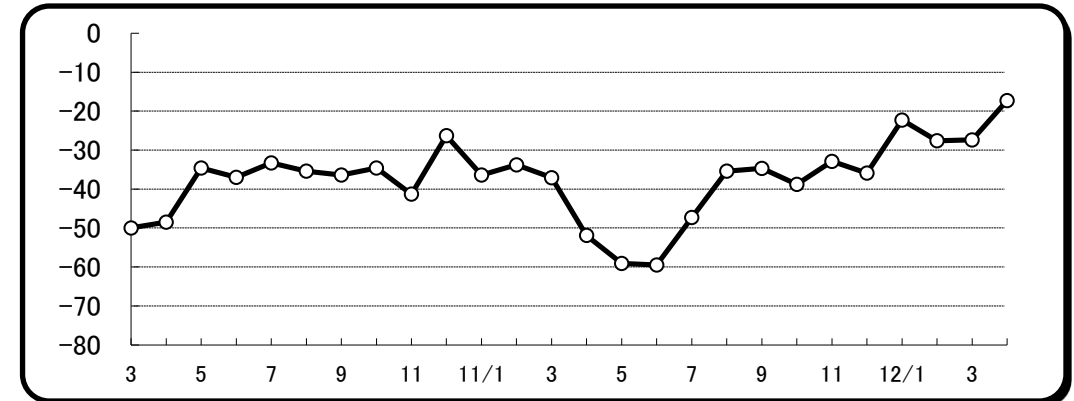
## 建設業



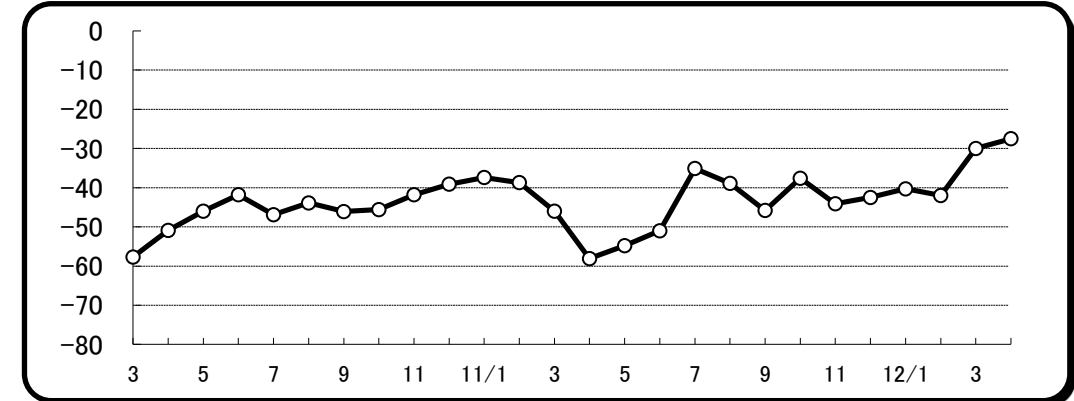
## 製造業



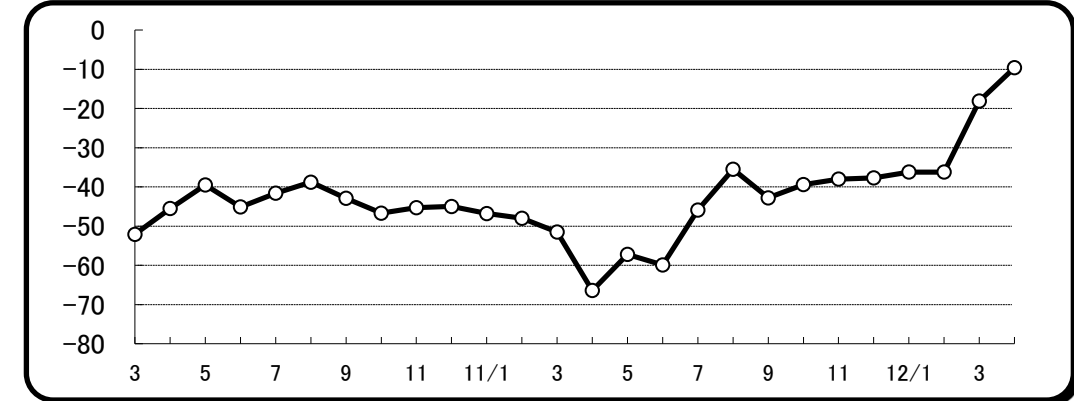
## 卸売業



## 小売業



## サービス業



【ブロック別概況・北海道】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、建設業、卸売業、小売業でマイナス幅が拡大、その他の2業種で縮小した。  
 ○一般工事業からは、「官民間わず、受注環境は一層厳しくなっており、受注しても収益が上がらない」とのコメント。木製品製造業からは、「円高により、海外の木材製品を安く入荷できている」とのコメント。小売業からは、「生鮮品に加えて、一般食料品も価格が上昇しており、厳しい状況」との声、商店街からは、「寒さが厳しく、例年ならば需要が高まるストーブの修理や夏物家電の動きが少ない」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業ではほぼ横ばい。産業別にみると、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小、サービス業は横ばい、その他の2業種は拡大する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
業況	▲ 38.7	▲ 39.2	▲ 29.5	▲ 28.6	▲ 14.0	▲ 18.4	▲ 19.4
売上	▲ 42.1	▲ 24.0	▲ 24.5	▲ 30.4	▲ 5.7	▲ 21.2	▲ 17.2
採算	▲ 29.3	▲ 32.4	▲ 22.9	▲ 26.4	▲ 15.1	▲ 21.4	▲ 23.5
資金繰り	▲ 23.0	▲ 21.9	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 4.7	▲ 10.2	▲ 11.2
仕入単価	▲ 20.3	▲ 18.9	▲ 27.2	▲ 23.3	▲ 22.1	▲ 17.3	▲ 16.3
従業員	▲ 6.7	▲ 9.5	▲ 8.6	▲ 5.5	▲ 5.8	0.0	▲ 3.1

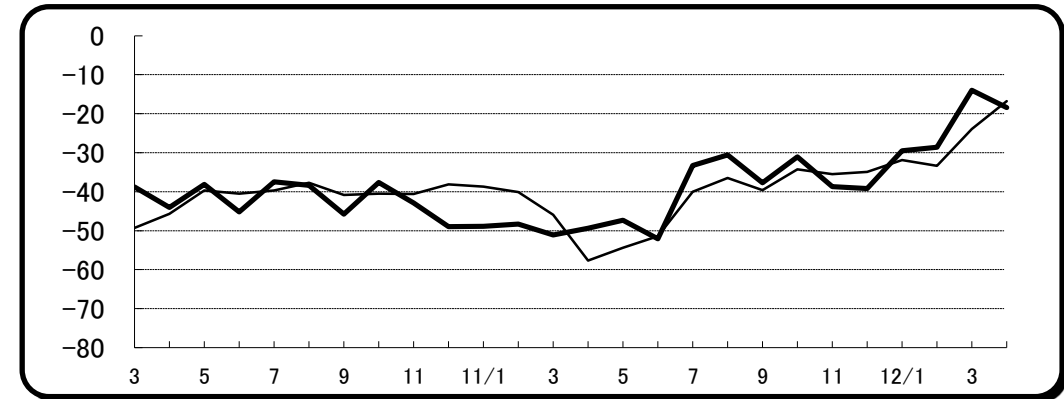
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
建設	▲ 42.9	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 5.6	▲ 5.9	▲ 11.1	▲ 33.3
製造	▲ 58.3	▲ 33.3	▲ 31.6	▲ 35.7	▲ 15.4	0.0	▲ 11.1
卸売	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 22.2	▲ 37.5	▲ 12.5	▲ 42.9	▲ 14.3
小売	▲ 45.0	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 34.8	▲ 4.8	▲ 25.0	▲ 14.3
サービス	▲ 23.8	▲ 55.0	▲ 27.6	▲ 32.1	▲ 25.9	▲ 22.2	▲ 22.2

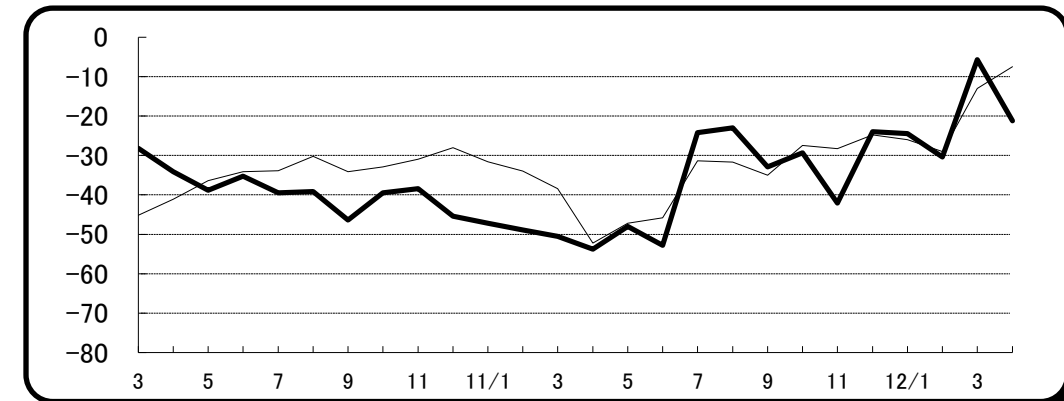
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道    —— 全国

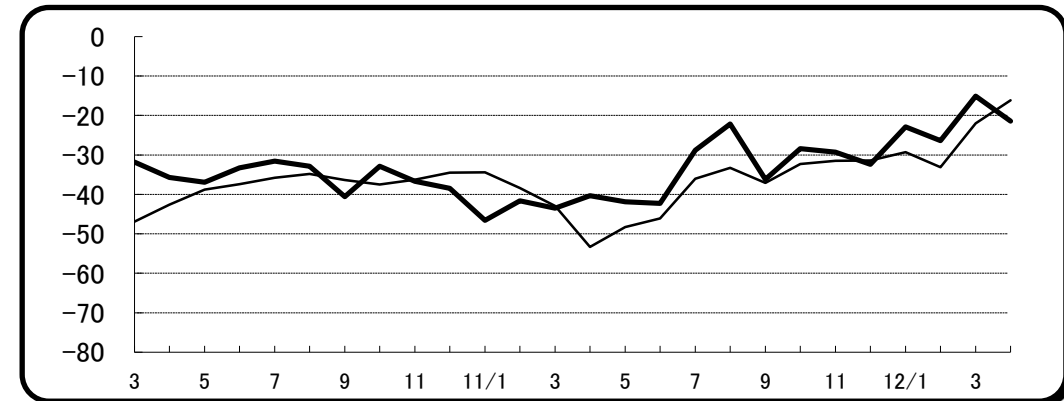
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東北】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、卸売業は改善したものの、その他の4業種で悪化した。  
 ○土木工事業からは、「原油価格高騰のため、輸送コストが上昇しているほか、石材の需要が高まり、値上がりしている」とのコメント。食品製造業からは、「価格競争が激しく、低価格での受注を余儀なくされている」とのコメント。小売業からは、「原材料費が高騰する中、販売価格へ転嫁できていない。経費削減にも限界があり、厳しい状況」との声、旅館業からは、「春の観光シーズンに入り、復調の兆しが見える。ただし、原油価格が高騰しており、予断は許さない」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月から悪化する見込み。産業別にみると、卸売業、小売業は改善するものの、その他の3業種は悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5~7月
業況	▲13.0	▲18.9	▲10.9	▲25.6	4.5	▲4.1	▲8.1
売上	▲1.7	▲18.0	▲10.9	▲23.1	3.6	9.8	0.0
採算	▲19.1	▲25.2	▲15.0	▲29.1	▲9.8	▲4.9	▲10.7
資金繰り	▲14.0	▲23.6	▲15.0	▲18.1	▲13.5	0.8	▲10.7
仕入単価	▲29.6	▲28.8	▲36.6	▲29.1	▲34.8	▲43.1	▲41.5
従業員	8.7	3.6	7.9	0.0	1.8	5.7	5.7

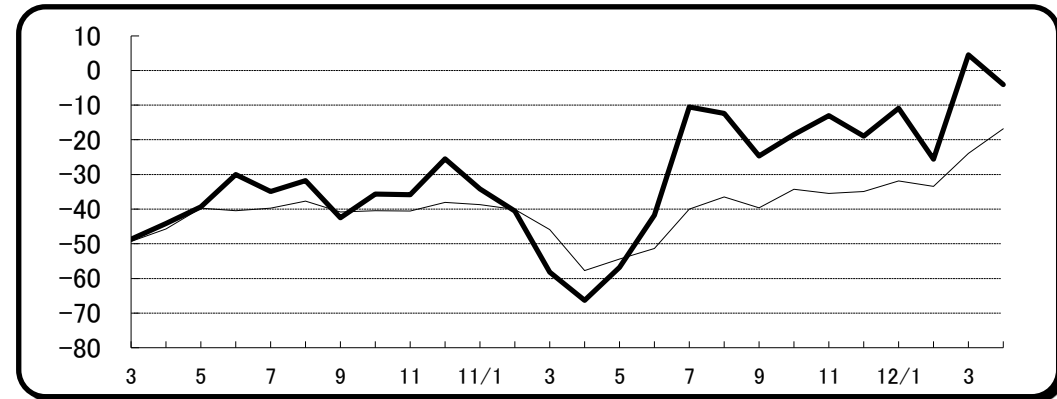
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5~7月
建設	22.7	10.5	10.5	4.8	16.7	4.2	▲4.2
製造	▲23.3	▲35.7	▲8.3	▲26.7	▲3.6	▲10.0	▲13.3
卸売	10.0	▲22.2	▲14.3	▲37.5	▲44.4	▲14.3	0.0
小売	▲9.7	▲11.1	▲12.0	▲13.3	13.8	▲12.9	▲6.5
サービス	▲50.0	▲28.6	▲26.9	▲57.1	10.7	6.5	▲9.7

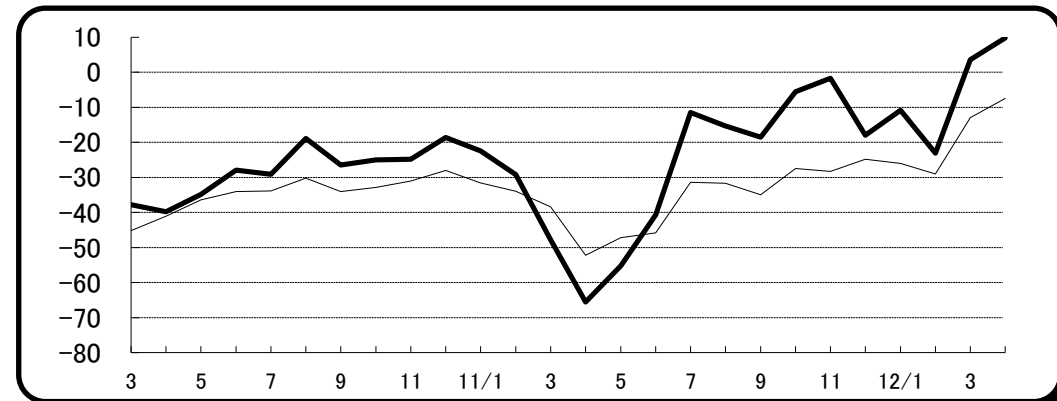
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）

—— 東北      —— 全国

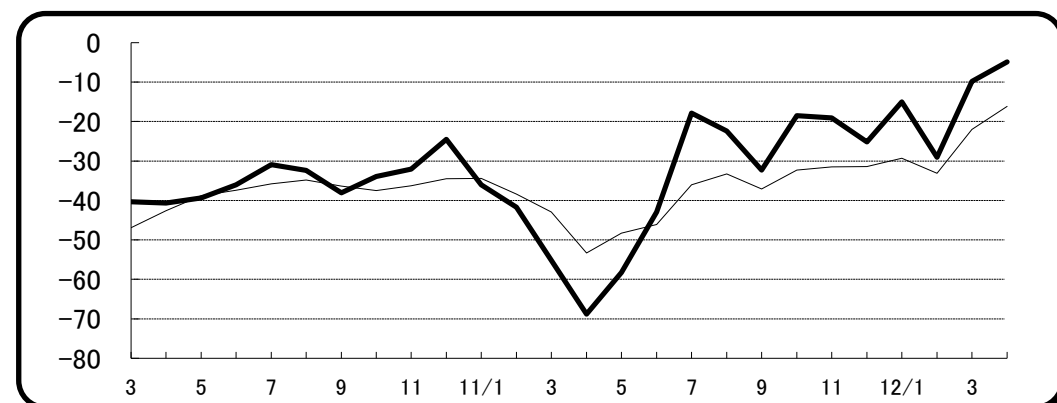
業況



売上



採算





【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業、製造業、卸売業はマイナス幅が縮小、その他の2業種でマイナス幅が拡大した。  
 ○一般工事業からは、「人材不足が深刻。募集をしても応募がなく、一方で社員は高齢化しているため、技術承継が進まない」とのコメント。金属製品製造業からは、「取引先企業において生産・販売拠点の海外進出が加速。国内では価格競争が激しく、採算面で厳しい状況」とのコメント、飲食店からは、「常連客の来店回数が減り、観光客の注文単価も下がっている」とのコメント。旅館業からは、「原油価格の高騰に伴うコスト上昇分を、販売価格に転嫁できない」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業ではほぼ横ばい。産業別にみると、製造業、卸売業はマイナス幅が縮小するものの、他の3業種は拡大する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
業況	▲41.9	▲30.4	▲27.7	▲41.0	▲22.6	▲20.7	▲21.3
売上	▲36.9	▲23.0	▲20.0	▲38.3	▲10.1	▲6.7	▲12.5
採算	▲34.4	▲28.4	▲22.5	▲39.6	▲18.2	▲23.0	▲24.3
資金繰り	▲23.8	▲19.3	▲17.7	▲29.1	▲15.1	▲17.0	▲15.4
仕入単価	▲22.2	▲22.4	▲22.5	▲24.8	▲31.2	▲32.6	▲25.7
従業員	▲3.8	▲3.0	1.5	▲8.2	0.6	▲1.5	▲0.7

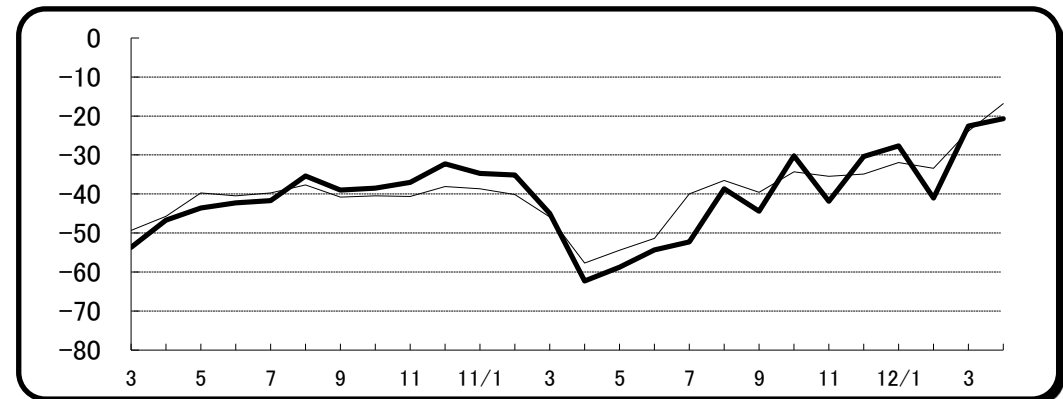
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
建設	▲46.7	▲20.0	▲34.6	▲43.3	▲48.5	▲35.7	▲39.3
製造	▲24.3	▲21.9	▲6.7	▲28.6	▲16.7	▲7.1	▲3.6
卸売	▲50.0	▲41.7	▲21.4	▲35.3	▲35.3	▲15.4	0.0
小売	▲48.8	▲30.3	▲32.3	▲50.0	▲17.6	▲25.9	▲28.6
サービス	▲44.7	▲42.4	▲41.4	▲45.5	▲5.1	▲17.9	▲23.1

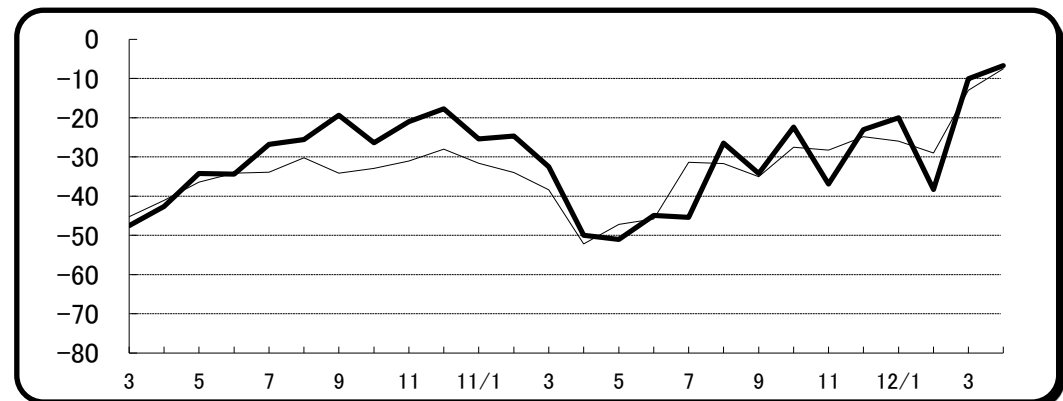
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越    —— 全国

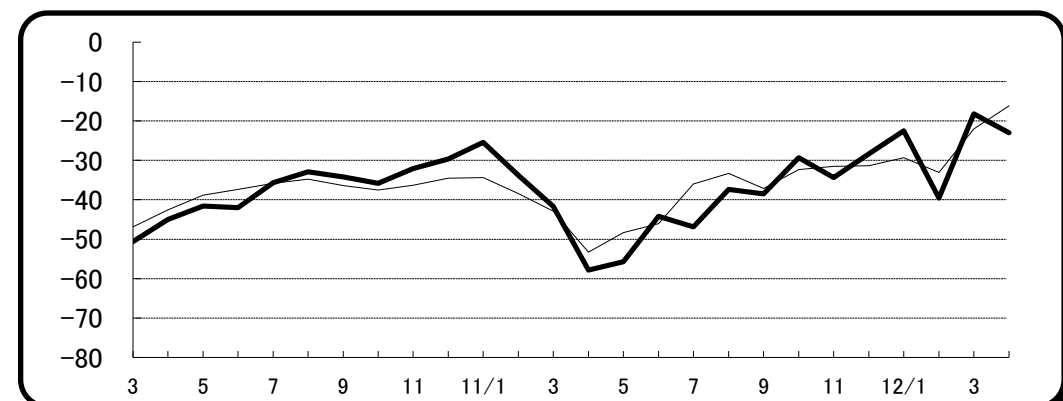
業況



売上



採算



【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、製造業はほぼ横ばい、小売業はマイナス幅が拡大したものの、その他の3業種は改善した。  
 ○電気工事業からは、「競争が激しく受注価格が低下しているため、仕事はあるが、売上・収益は低迷している」との声、自動車部品製造業からは、「円高の影響を受けて経営が厳しい。電力供給や電気料金値上げの問題も懸念」とのコメント。小売業からは「原発事故に伴う風評被害によって、依然として観光客が少なく、当地の特産品が敬遠される状況が続いている」とのコメント。自動車整備業からは、「エコカー補助金等の効果により新車は活況であるものの、中古市場は不況」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、小売業は改善するものの、その他の4業種は悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
業況	▲ 29.0	▲ 32.3	▲ 31.0	▲ 32.4	▲ 19.7	▲ 11.5	▲ 19.0
売上	▲ 21.3	▲ 16.7	▲ 23.1	▲ 25.4	▲ 5.4	3.7	▲ 8.5
採算	▲ 25.4	▲ 27.7	▲ 29.8	▲ 32.8	▲ 17.2	▲ 8.0	▲ 20.7
資金繰り	▲ 16.7	▲ 16.1	▲ 18.2	▲ 17.4	▲ 13.9	▲ 5.6	▲ 14.3
仕入単価	▲ 28.5	▲ 23.2	▲ 24.6	▲ 22.7	▲ 30.9	▲ 29.5	▲ 31.0
従業員	▲ 2.0	▲ 2.0	0.9	▲ 0.7	1.2	2.1	0.5

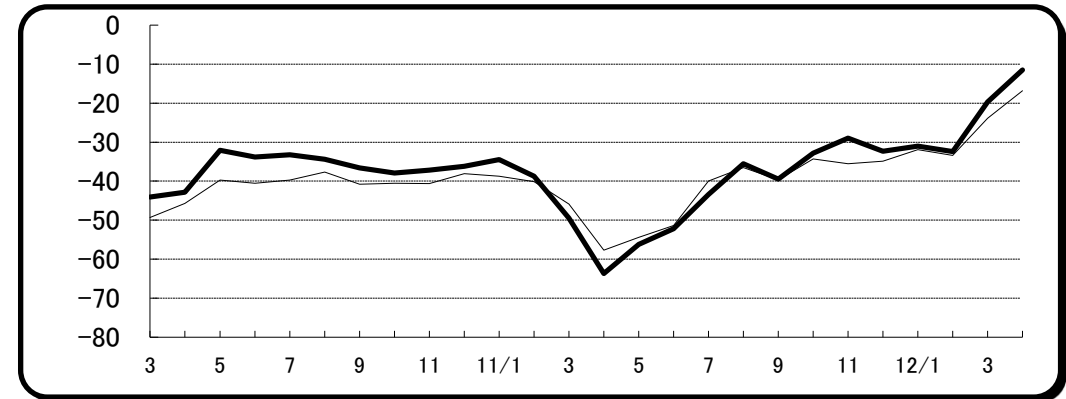
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
建設	▲ 23.5	▲ 35.0	▲ 18.9	▲ 16.7	▲ 30.0	▲ 19.4	▲ 25.8
製造	▲ 19.3	▲ 12.2	▲ 27.2	▲ 26.6	▲ 7.9	▲ 7.3	▲ 24.5
卸売	▲ 28.6	▲ 32.1	▲ 18.8	▲ 21.6	▲ 25.9	▲ 3.4	▲ 5.2
小売	▲ 41.2	▲ 42.3	▲ 39.8	▲ 48.5	▲ 23.7	▲ 29.0	▲ 18.0
サービス	▲ 31.3	▲ 39.0	▲ 41.2	▲ 37.0	▲ 16.8	0.9	▲ 17.9

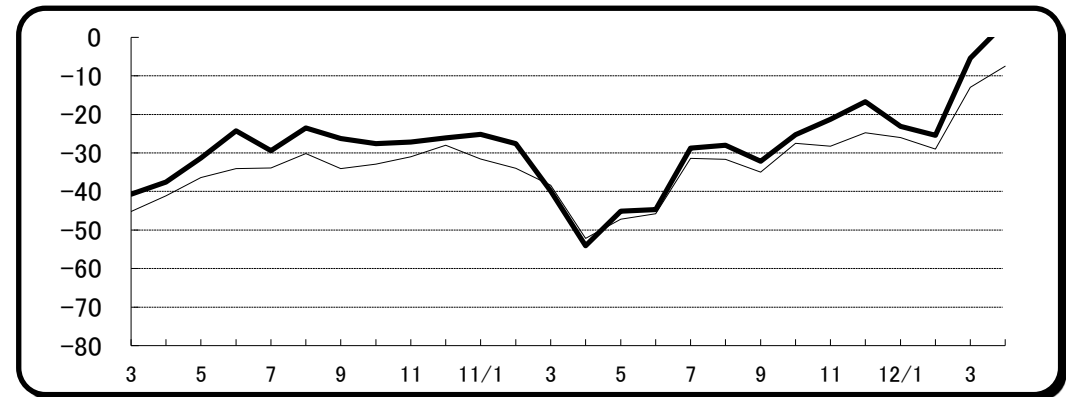
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）

—— 関東      —— 全国

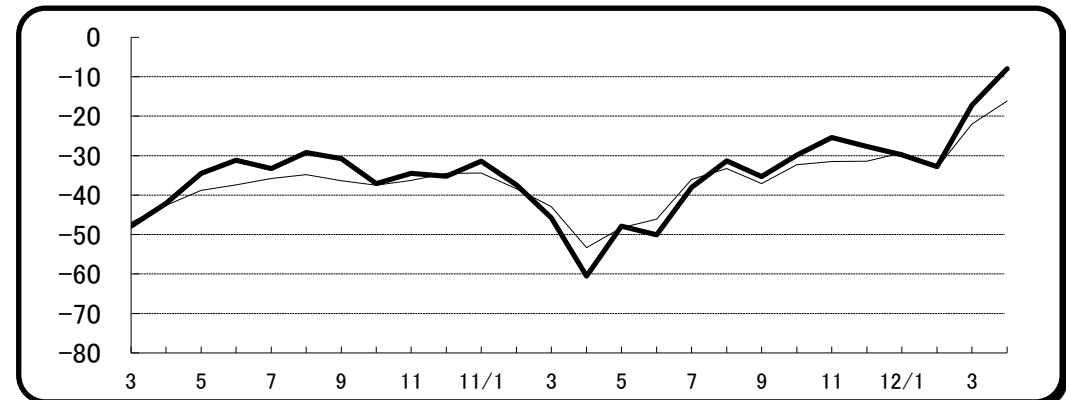
業況



売上



採算



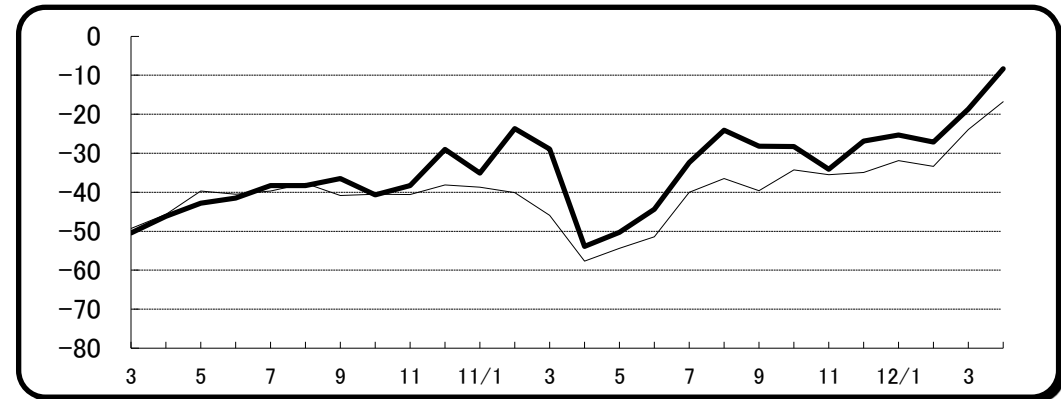
【ブロック別概況・東海】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、卸売業は悪化したものの、その他の4業種は改善した。  
 ○管工事業からは、「今夏の電力供給や電気料金の値上げ、これらに伴う節電要請が懸念材料」とのコメント。輸送用機械製造業からは、「主要メーカーの海外移転が進んでいる。自社も検討をしているが、資金や人材を考えると厳しい」とのコメント。建築材料卸売業からは、「受注数が減り、受注単価も下がる一方で、仕入価格や輸送コストが上昇している」との声、百貨店からは、「来客数は増加傾向にあるが、収益を人件費に回せるほど余裕はない」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、建設業、卸売業は横ばい、その他の3業種は悪化する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）

——— 東海      —— 全国

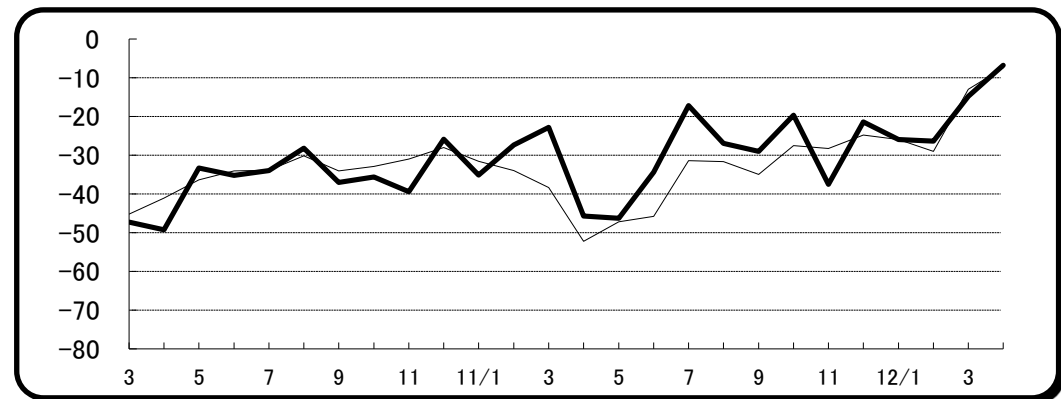
業 況



全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
業 況	▲ 34.1	▲ 26.9	▲ 25.3	▲ 27.1	▲ 18.7	▲ 8.3	▲ 19.7
売 上	▲ 37.5	▲ 21.4	▲ 26.0	▲ 26.4	▲ 14.8	▲ 6.8	▲ 20.9
採 算	▲ 35.3	▲ 30.3	▲ 29.9	▲ 33.6	▲ 22.1	▲ 15.1	▲ 23.6
資金繰り	▲ 18.2	▲ 17.9	▲ 16.1	▲ 12.5	▲ 11.9	▲ 6.3	▲ 15.1
仕入単価	▲ 17.9	▲ 18.9	▲ 17.8	▲ 13.8	▲ 26.3	▲ 28.0	▲ 27.0
従業員	0.0	▲ 2.8	▲ 3.2	0.7	▲ 5.0	5.7	4.1

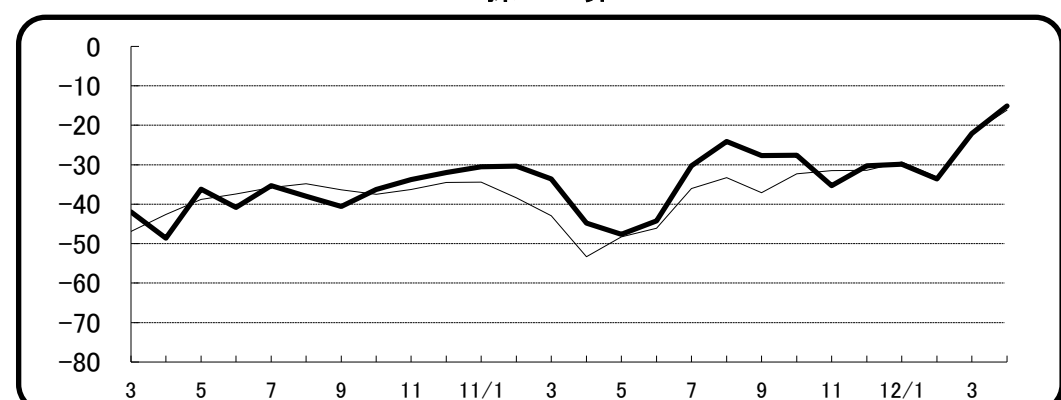
売 上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
建 設	▲ 12.5	▲ 11.8	▲ 13.6	▲ 26.3	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 19.2
製 造	▲ 24.4	▲ 21.4	▲ 15.9	▲ 19.0	0.0	7.8	▲ 20.3
卸 売	▲ 64.3	▲ 47.4	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 5.3	▲ 15.8	▲ 15.8
小 売	▲ 40.0	▲ 38.2	▲ 40.0	▲ 43.3	▲ 53.7	▲ 25.6	▲ 33.3
サービス	▲ 38.2	▲ 18.2	▲ 22.9	▲ 24.2	▲ 11.1	▲ 6.7	▲ 8.9

採 算



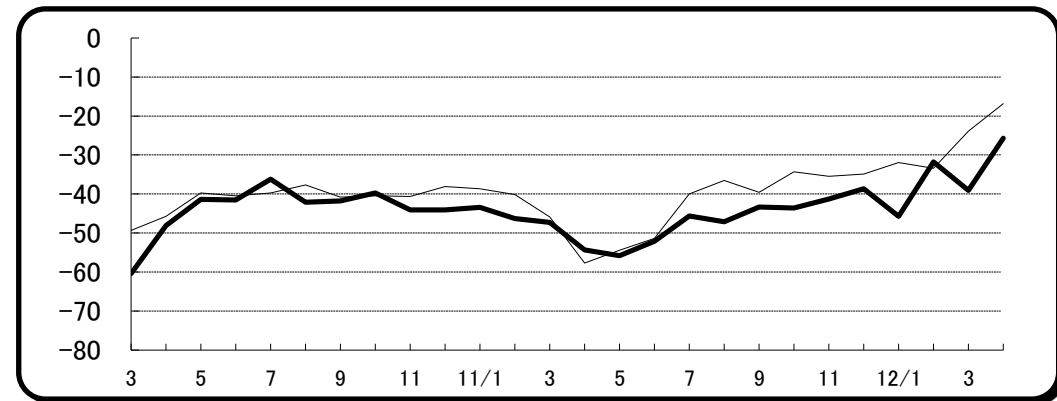
【ブロック別概況・近畿】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、卸売業は悪化したものの、その他の4業種は縮小した。  
 ○化学製品製造業からは、「円高の影響を受け、注文数が減少傾向」との声、衣服・日用品卸売業からは、「価格が下落し、売上にも影響を及ぼしている」とのコメント。百貨店からは、「前年と比較すると改善している。食料品が好調だが、衣料品は大幅な回復には至っていない」とのコメント。飲食店からは、「節約ムードが強く、内食傾向にあるため、売上が低水準。観光客向けのお弁当は多少上向いている。」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業は横ばい、製造業はマイナス幅が拡大するものの、その他の3業種は縮小する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（近畿）

近畿 全国

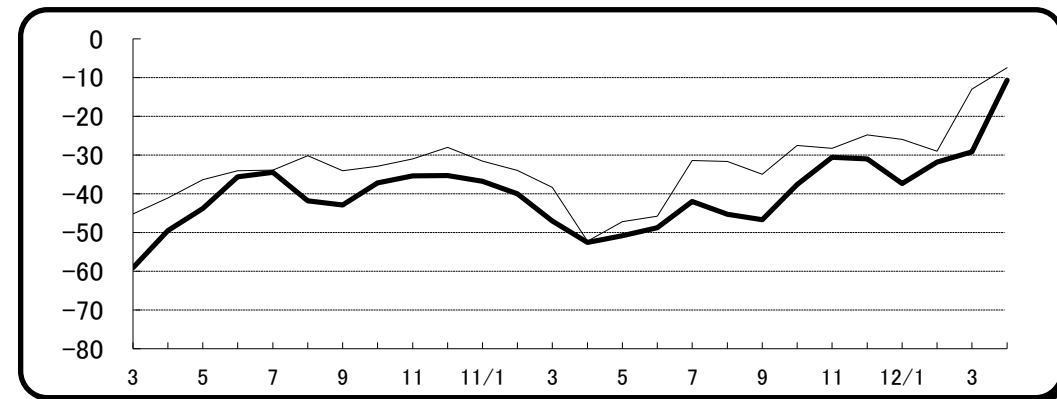
業況



全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5~7月
業況	▲ 41.3	▲ 38.7	▲ 45.7	▲ 31.8	▲ 39.1	▲ 25.7	▲ 24.3
売上	▲ 30.6	▲ 31.0	▲ 37.4	▲ 31.8	▲ 29.2	▲ 10.7	▲ 10.1
採算	▲ 39.9	▲ 32.1	▲ 36.8	▲ 31.5	▲ 39.9	▲ 26.0	▲ 20.2
資金繰り	▲ 22.2	▲ 23.2	▲ 24.9	▲ 18.8	▲ 23.7	▲ 13.6	▲ 11.1
仕入単価	▲ 28.2	▲ 22.4	▲ 29.9	▲ 17.5	▲ 30.8	▲ 31.1	▲ 25.6
従業員	▲ 6.7	▲ 1.6	▲ 0.5	▲ 2.2	▲ 8.6	0.0	▲ 0.6

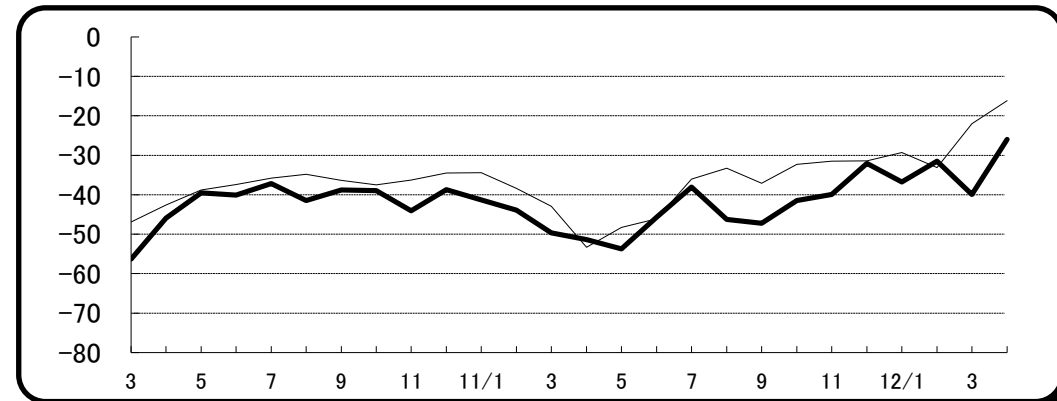
売上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5~7月
建設	▲ 47.6	▲ 50.0	▲ 57.1	▲ 33.3	▲ 54.2	▲ 33.3	▲ 33.3
製造	▲ 34.7	▲ 18.2	▲ 30.4	▲ 17.0	▲ 31.9	▲ 15.4	▲ 25.0
卸売	▲ 17.6	▲ 18.8	▲ 21.4	▲ 6.3	▲ 22.2	▲ 37.5	▲ 18.8
小売	▲ 48.1	▲ 49.1	▲ 62.5	▲ 41.7	▲ 46.2	▲ 29.5	▲ 21.4
サービス	▲ 47.4	▲ 55.3	▲ 48.9	▲ 50.0	▲ 37.2	▲ 26.3	▲ 23.7

採算



【ブロック別概況・中国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみても、全ての業種でマイナス幅が縮小した。  
 ○水産食料品製造業からは、「漁獲量に左右されるところはあるが、販売価格は比較的安定している」とのコメント。製鉄業からは、「円高と輸入鋼材の価格上昇が続いているため、生産を海外へシフトし、生産能力を強化する」とのコメント。商店街からは、「年々、売上や来客数が減少しており、大型店問題等、抜本的な改善が必要。」との声、飲食店からは、「原材料価格の高騰により、収益が悪化している」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業は横ばい、製造業、サービス業はマイナス幅が拡大、その他の2業種はマイナス幅が縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
業況	▲ 47.8	▲ 47.1	▲ 41.1	▲ 51.4	▲ 51.5	▲ 30.0	▲ 28.1
売上	▲ 34.4	▲ 38.6	▲ 43.9	▲ 48.6	▲ 39.8	▲ 21.1	▲ 25.6
採算	▲ 32.2	▲ 29.5	▲ 36.4	▲ 43.9	▲ 34.0	▲ 16.7	▲ 12.2
資金繰り	▲ 33.7	▲ 29.9	▲ 25.5	▲ 28.3	▲ 34.7	▲ 14.8	▲ 21.6
仕入単価	▲ 21.3	▲ 20.7	▲ 12.3	▲ 15.2	▲ 18.6	▲ 21.6	▲ 17.2
従業員	▲ 14.4	▲ 18.2	▲ 19.6	▲ 16.8	▲ 15.5	▲ 16.7	▲ 16.9

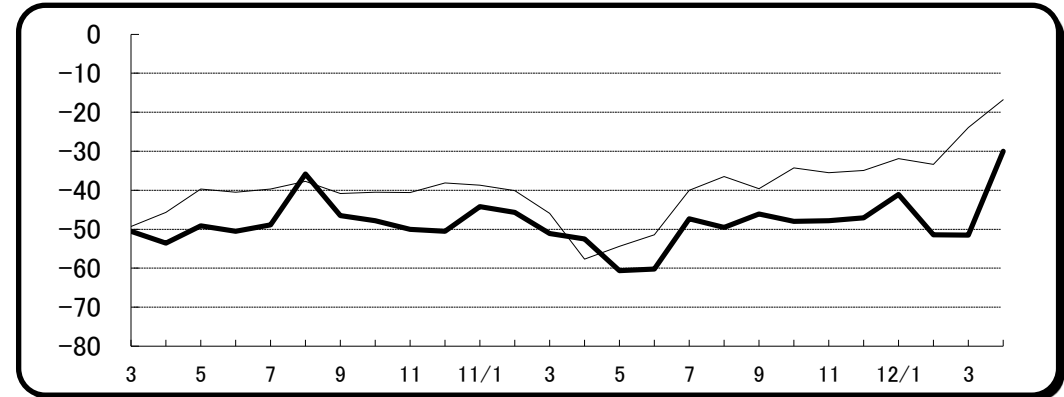
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
建設	▲ 18.2	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 53.8	▲ 35.7	▲ 20.0	▲ 20.0
製造	▲ 40.0	▲ 35.5	▲ 32.3	▲ 34.3	▲ 39.3	▲ 29.6	▲ 33.3
卸売	▲ 36.4	▲ 33.3	▲ 35.7	▲ 46.7	▲ 53.8	▲ 26.7	▲ 13.3
小売	▲ 75.0	▲ 76.2	▲ 41.9	▲ 59.3	▲ 75.0	▲ 38.1	▲ 28.6
サービス	▲ 50.0	▲ 46.2	▲ 58.8	▲ 76.5	▲ 45.0	▲ 29.4	▲ 37.5

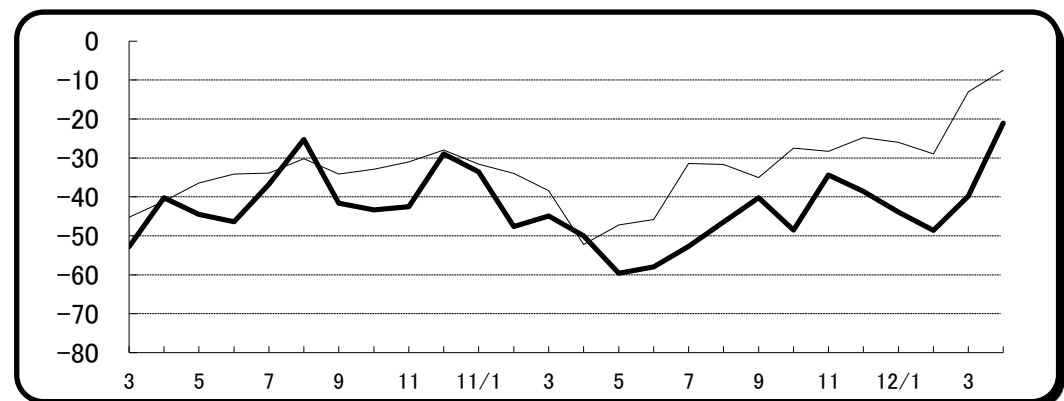
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）

——— 中国      —— 全国

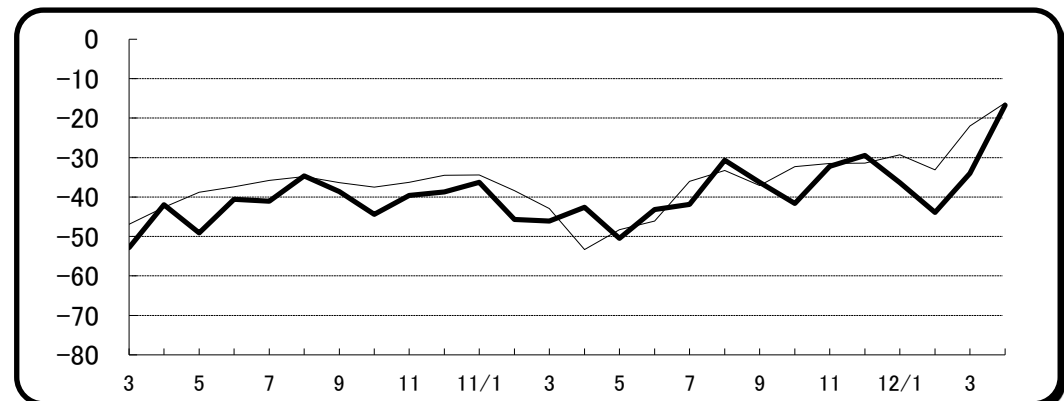
業況



売上



採算



【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、製造業はほぼ横ばい、その他の4業種でマイナス幅が縮小した。  
 ○建設工事業からは、「公共工事予算の削減等の影響により、厳しい状況。特に、受注単価の下落が懸念される」とのコメント。食料品製造業は、「売上が伸びてきているが、仕入価格も上がっている。今後の個人消費の動向が気掛かり」との声、百貨店からは、「昨年と比べて客単価は上がっており、消費マインドが上向いているように感じる。ギフトや旅行商品は堅調」とのコメント。飲食店からは、「原発事故の影響による食材の値上げが心配」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業、卸売業は横ばい、小売業はマイナス幅が拡大するものの、製造業、サービス業はマイナス幅が縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
業況	▲44.2	▲46.3	▲38.0	▲37.6	▲27.4	▲21.6	▲19.6
売上	▲37.2	▲36.1	▲32.4	▲26.5	▲10.4	▲21.6	▲25.5
採算	▲33.6	▲41.7	▲37.0	▲36.8	▲23.6	▲25.5	▲26.5
資金繰り	▲23.9	▲24.1	▲28.7	▲24.8	▲14.3	▲12.9	▲15.8
仕入単価	▲28.3	▲29.6	▲25.9	▲23.1	▲22.6	▲31.4	▲35.3
従業員	▲6.2	▲4.6	▲6.5	▲1.7	▲3.8	1.0	▲2.9

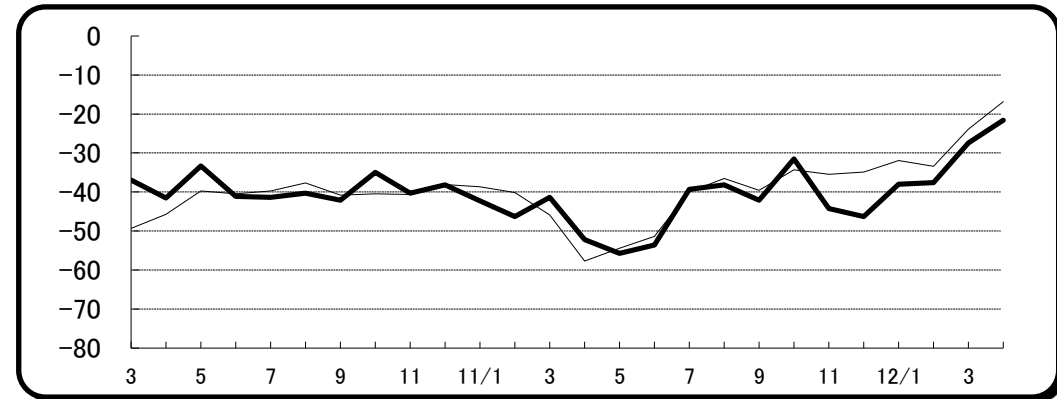
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
建設	▲45.0	▲58.8	▲61.1	▲47.4	▲50.0	▲44.4	▲44.4
製造	▲39.3	▲37.9	▲30.8	▲32.3	▲16.0	▲15.4	▲11.5
卸売	▲12.5	▲60.0	▲22.2	▲33.3	▲30.0	▲11.1	▲11.1
小売	▲58.6	▲51.9	▲44.4	▲48.3	▲30.8	▲20.8	▲25.0
サービス	▲42.9	▲36.0	▲28.6	▲27.6	▲18.5	▲16.0	▲8.0

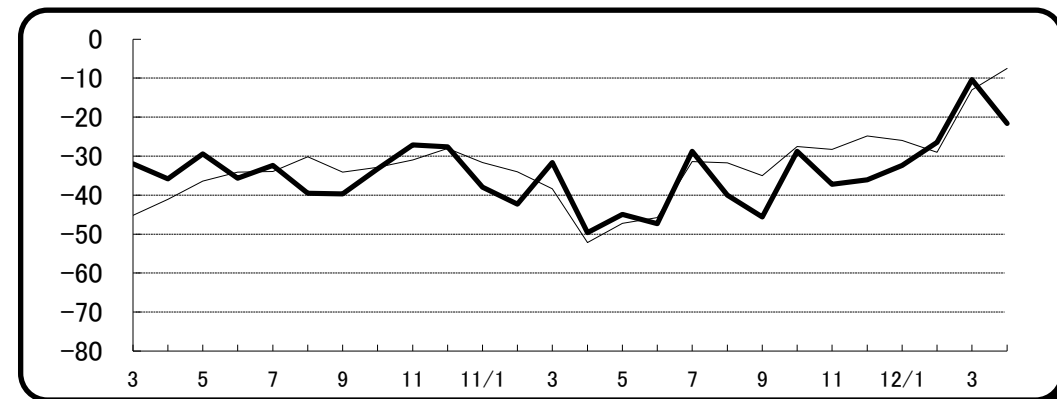
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）

—— 四国      —— 全国

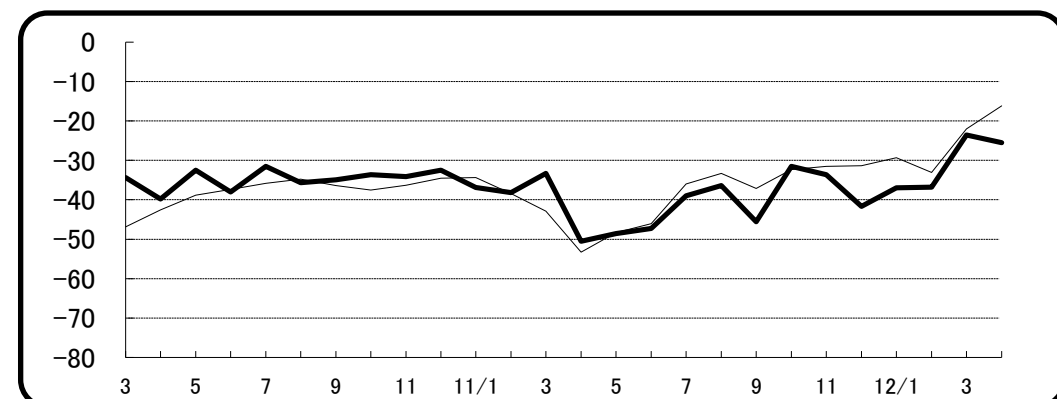
業況



売上



採算



【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、製造業、卸売業はほぼ横ばい、小売業はマイナス幅が拡大したものの、その他の2業種でマイナス幅が縮小した。  
 ○建築工事業からは、「仕入単価が上昇傾向にあり、採算に影響を及ぼすことが懸念される」とのコメント。酒造業からは、「価格競争や、新規店への納入条件が厳しくなってきた」とのコメント。電気機械器具製造業からは、「LPガスの仕入価格が上がる一方、上昇分を価格に転嫁できていない」との声、商店街からは、「消費者の買い控えが続いている。また、外国人も消費が慎重になっており、売上が伸びない」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業、サービス業はマイナス幅が拡大するものの、その他の3業種はマイナス幅が縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
業況	▲45.1	▲44.4	▲33.1	▲29.5	▲31.3	▲28.5	▲25.0
売上	▲32.6	▲33.3	▲19.0	▲20.8	▲16.0	▲26.4	▲24.3
採算	▲43.0	▲43.7	▲27.7	▲25.4	▲20.8	▲23.4	▲22.8
資金繰り	▲28.9	▲29.6	▲28.4	▲15.5	▲26.0	▲18.8	▲24.3
仕入単価	▲26.2	▲25.4	▲34.8	▲24.8	▲34.6	▲33.3	▲26.4
従業員	▲5.6	▲7.4	▲2.8	1.6	▲5.4	▲6.9	▲7.6

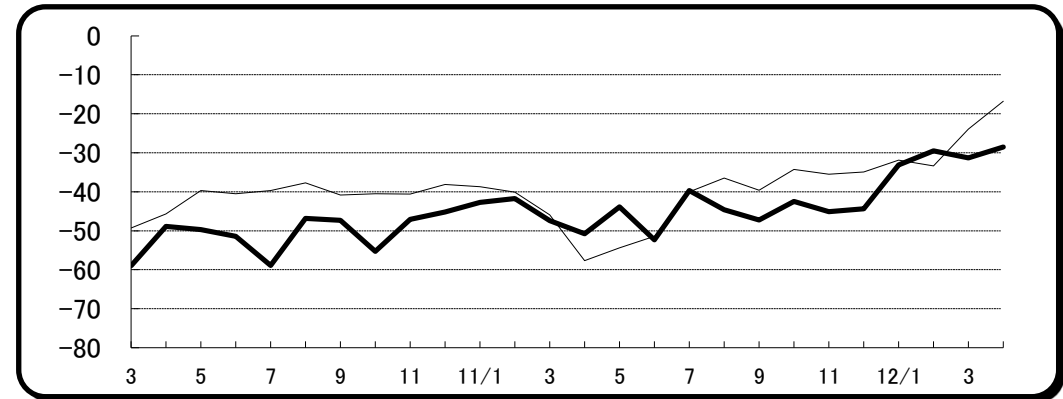
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 11月	12年 12月	12年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
建設	▲58.3	▲65.2	▲43.5	▲70.0	▲58.3	▲45.5	▲54.5
製造	▲41.9	▲46.4	▲43.3	▲46.4	▲25.8	▲26.5	▲17.6
卸売	▲69.2	▲35.3	▲11.8	▲31.3	▲33.3	▲33.3	▲5.6
小売	▲41.0	▲52.8	▲40.0	▲26.5	▲22.9	▲37.1	▲28.6
サービス	▲34.3	▲22.6	▲21.6	9.7	▲24.1	▲8.6	▲20.0

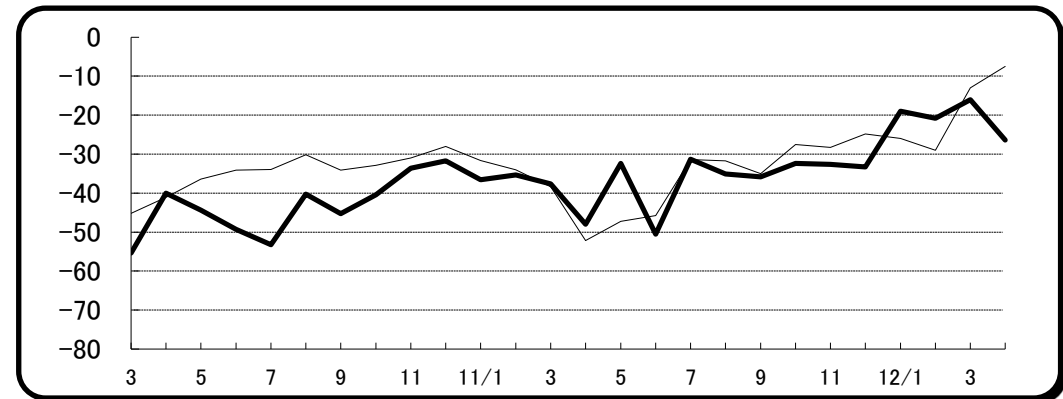
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（九州）

九州 全国

業況



売上



採算

